

スレートPC用コントロールパック

# SlatePack

---

Version 2.0.0

操作マニュアル

TECH-BEE

サポートメールアドレス [tech-bee@mail.goo.ne.jp](mailto:tech-bee@mail.goo.ne.jp)

ご意見・ご要望： <http://techbee.blog14.fc2.com/blog-entry-71.html>

# 改定履歴

版	公開日	Version	摘要
第3版	2011/02/19	2.0.0	.netFrameWork 2.0 用を追加
第2版	2010/12/08	2.0.0	次の8種類のコントロールを公開 <ul style="list-style-type: none"><li>■ NumericL</li><li>■ NumericS</li><li>■ Billion</li><li>■ Million</li><li>■ DateL</li><li>■ DateS</li><li>■ TimeL</li><li>■ TimeS</li></ul>
第1版	2010/12/05	1.0.0	次の2種類のコントロールを公開 <ul style="list-style-type: none"><li>■ ListBox</li><li>■ CheckedListBox</li></ul>

# 目次

---

はじめに	1
準備	3
ListBox	5
CheckedListBox	6
NumericL, NumericS	7
Billion, Million	8
DateL, DateS	9
TimeL, TimeS	10

---

# はじめに

---

当 DLL は、スレート PC(\*1)用のプログラムを VS.net(\*2) にて開発するために利用していただく事を目的としたコントロールをまとめたものです。

スレート PC用のプログラムとは、指先のみでの完全な操作が可能な事を前提として最適化したものを指します。

ただし、マウス・キーボードでも操作が可能であることを必須条件とします。

指先のみでの完全な操作とは、次の要件を満たしている事を指します。

- ・ 操作時にリアルタイムで反応があり、各操作が処理されていることを確認できる
- ・ 項目指定時に指先で正確に目的の対象を選択できる（誤操作を防ぐ仕組みになっている）
- ・ 少なくとも一度使用すれば、次回からは直感的に操作ができるほどわかりやすく、簡便な操作性を備えている  
（上記2項目の要件を満たすために操作性を犠牲にしない）

以上の条件を満たした次の10のコントロールを提供します。

## ■ ListBox

- ・ Windows 標準の ListBox と同様の機能を提供する
- ・ 一覧表示モードと、項目選択モードがある
- ・ 表示モードをダブルクリックすると、項目選択モードに切り替わり項目を選択することができる  
項目選択後は自動的に表示モードに戻る

## ■ CheckedListBox

- ・ Windows 標準の CheckedListBox と同様の機能を提供する  
ただし、チェック済の表現は若干標準と異なる
- ・ 一覧表示モードと、項目選択モードがある
- ・ 表示モードをダブルクリックすると、項目選択モードに切り替わり項目を選択することができる  
項目選択後は自動的に表示モードに戻る

## ■ NumericL, NumericS

- ・ 1桁ずつの数値を指定・取得する  
NumericL +5 の指定により指定を高速化する  
NumericS 指定数値の上限が設定できる（時刻など10進数ではないものに対応）

---

\*1 板状の本体表面全体にタッチパネル式ディスプレイを搭載し、マルチタッチ(\*3)に対応したモバイル端末

\*2 Microsoft が提供する、VB.net, C#.net 等の言語の開発環境

\*3 指などで画面に直接触れて操作する入力装置で、複数のポイントを同時に操作する入力方式

# はじめに

---

## ■ Billion, Million

- ・ 99億まで (Billion)、999万まで (Million) の数値を指定・取得する

## ■ DateL, DateS

- ・ YYYY/MM/DD 形式 (DateL)、YY/MM/DD 形式 (DateS) の日付を指定・取得する

## ■ TimeL, TimeS

- ・ HH:MM:SS 形式 (TimeL)、HH:MM 形式 (TimeS) の時刻を指定・取得する

# 準備

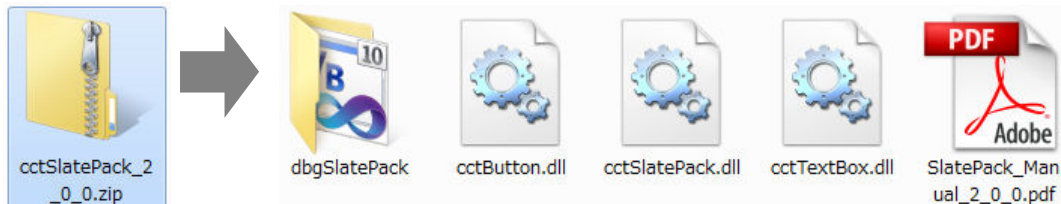
---

VS.net の開発環境に組み込み利用します。

## 1 ファイル配置

- ・ ダウンロードしたファイルを解凍します。

※ .netFrameWork 2.0 版はダウンロードファイルを cctSlatePack\_fw2\_2\_0\_0.zip と読み替えてください



解凍した内容は次のとおり

- cctSlatePack.dll  
各種コントロールを包含する、当 DLL 本体
  - cctButton.dll  
cctSlatePack.dll にて利用するボタンコントロールの DLL
  - cctTextBox.dll  
cctSlatePack.dll にて利用するテキストボックスコントロールの DLL
  - SlatePack\_Manual\_2\_0\_0.pdf  
本マニュアルファイル  
※ .netFrameWork 2.0 版は SlatePack\_fw2\_Manual\_2\_0\_0\_1.pdf
  - dbgSlatePack フォルダ  
当 DLL の機能および利用方法を説明するためのサンプルプログラムおよびソース  
※ .netFrameWork 2.0 版にはありません
- ・ 解凍した内容のうち3つの DLL ファイルを任意のフォルダに移動してください  
(解凍したフォルダのままでもかまいませんが、カスタムコントロールを配置する専用のフォルダを用意することをお勧めします)

## 2 VS.net への組み込み

- ・ プログラム開発のフォーム編集状態でツールボックスに DLL を組み込みます。
  - [ ツールボックス ] 領域内で右クリック
  - [ アイテムの選択 ] をクリックする
  - [ ツールボックス アイテムの選択 ] ダイアログボックスが開く
  - [ .Net Framework コンポーネント ] タブ内の [ 参照 ] ボタンをクリックする
  - 1. で配置した cctSlatePack.dll を選択する
  - はじめに で提示した 10 個のコントロールが表示されチェックボックスにチェック

## 準備

---

がついていることを確認する  
[ OK ] ボタンをクリックする  
10個のコントロールが追加される

※ .netFrameWork3.5 以前のプロジェクトに .netFrameWork 4.0 版で上記設定を行っても、ツールボックスにアイコンは追加されません  
(表示されても使用できないからです)

# ListBox

---

選択する対象のデータを一覧表示し、1件のデータを選択します。

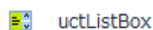
表示モードで、指定したいデータのあたりをダブルタップ（クリック）することにより選択モードに切り替わり、ダブルタップ（クリック）したデータ付近が拡大表示され選択しやすくなります。



レイアウトを容易にするために初期状態は、100桁30行のダミーデータを自動展開します。

## 1 コントロールの配置

- Form もしくは UserControl に `uctListBox` を貼り付けます。



## 2 各種パラメータ設定

- プログラム実行時に次のプロパティに値を与えることで動作や外観を指定します。

### リストボックス用

- `ProgramName` エラーメッセージのタイトルに使用する文字列（ユーザコントロールデバッグ）
- `ViewFont` 表示モード時のフォント（MS ゴシック, 10pt）
- `EntryFont` 選択モード時のフォント（MS ゴシック, 16pt）
- `EntryLine` 選択モード時の表示行数（5行）
- `ValueDataTable` 表示・選択するデータを `DataTable` で与える  
初期状態を空白にする場合は `Nothing` を与える
- `SelectedIndex` 選択した行を返す
- `SelectedItem` 選択した文字列を返す

### キャンセルボタン用

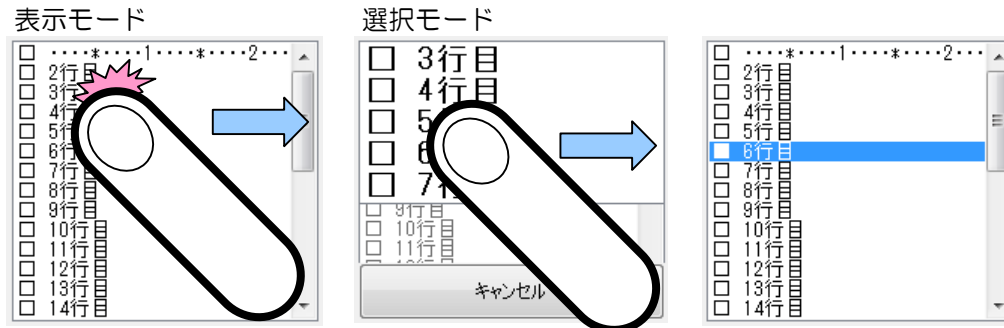
- `ClickColor` クリック時のボタン色（DarkGray）
- `WaveFile` クリック時再生 waveファイル名（Ding.wav）
- `HoverColor` ※ マウスカーソル移動時のボタン色（LightGray）
- `LeaveColor` 通常のボタン色（Control）



# CheckedListBox

選択する対象のデータを一覧表示し、複数のデータを選択します。

表示モードで、指定したいデータのあたりをダブルタップ（クリック）することにより選択モードに切り替わり、ダブルタップ（クリック）したデータ付近が拡大表示され選択しやすくなります。



レイアウトを容易にするために初期状態は、100桁30行のダミーデータを自動展開します。

## 1 コントロールの配置

- Form もしくは UserControl に `uctCheckedListBox` を貼り付けます。



## 2 各種パラメータ設定

- プログラム実行時に次のプロパティに値を与えることで動作や外観を指定します。

### リストボックス用

- |                               |  |
|-------------------------------|--|
| ■ <code>ProgramName</code>    | エラーメッセージのタイトルに使用する文字列<br>(ユーザコントロールデバッグ)   |
| ■ <code>ViewFont</code>       | 表示モード時のフォント (MS ゴシック, 10pt)  |
| ■ <code>EntryFont</code>      | 選択モード時のフォント (MS ゴシック, 16pt)  |
| ■ <code>EntryLine</code>      | 選択モード時の表示行数 (5行)   |
| ■ <code>ValueDataTable</code> | 表示・選択するデータを <code>DataTable</code> で与える<br>初期状態を空白にする場合は <code>Nothing</code> を与える |
| ■ <code>SelectedIndex</code>  | 選択した行の配列を返す  |
| ■ <code>SelectedItem</code>   | 選択した文字列の配列を返す  |

### キャンセルボタン用

- |                             |                              |
|-----------------------------|------------------------------|
| ■ <code>ClickColor</code>   | クリック時のボタン色 (DarkGray)        |
| ■ <code>WaveFile</code>     | クリック時再生 waveファイル名 (Ding.wav) |
| ■ <code>HoverColor</code> ※ | マウスカーソル移動時のボタン色 (LightGray)  |
| ■ <code>LeaveColor</code>   | 通常のボタン色 (Control)            |

# NumericL, NumericS

---

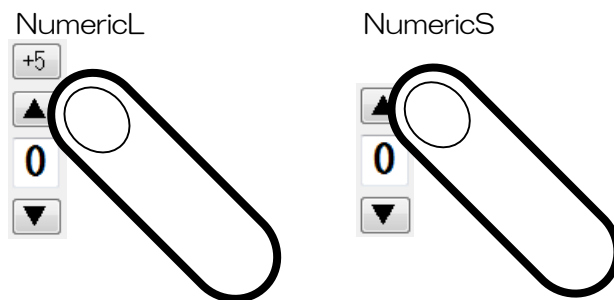
数値入力を行うための1桁ずつのコントロールを提供します。

0～9 迄を指定する NumericL と、上限を定めて指定する NumericS があります。

それぞれ上下矢印により数値の増減を行いますが、NumericL には +5 のボタンがあります。


直接数値を入力することも、プロパティにより値を与えることもできます。


値はプロパティにより受け取ることができます。



## 1 コントロールの配置

- Form もしくは UserControl に `uctNumericL` または `uctNumericS` を貼り付けます。

 `uctNumericL`

 `uctNumericS`

## 2 各種パラメータ設定

- 次の2つのプロパティがあります。

NumericS 専用

■ `MaxValue`

指定数値の上限を指定する

数値送受信

■ `NumericValue`

コントロール中のテキストボックスに表示されている数値の設定・取得をする

# Billion, Million

---

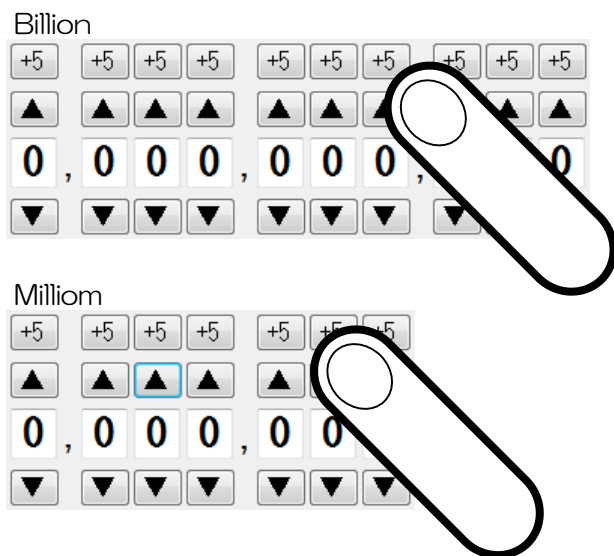
多桁数の数値を1桁ずつ設定します。

99億までの Billion と 999万までの Million があります。

それぞれの桁を上下矢印により数値の増減を行い、+5 の指定もできます。

直接数値を入力することも、プロパティにより値を与えることもできます。

値はプロパティにより受け取ることができます。



## 1 コントロールの配置

- Form もしくは UserControl に `uctBillion` または `uctMillion` を貼り付けます。

数 `uctBillion`  
数 `uctMillion`

## 2 各種パラメータ設定

- 次のプロパティがあります。

数値送受信

■ Value

コントロール中のテキストボックスに表示されている数値の設定・取得をする

# DateL, DateS

---

日付を指定します。

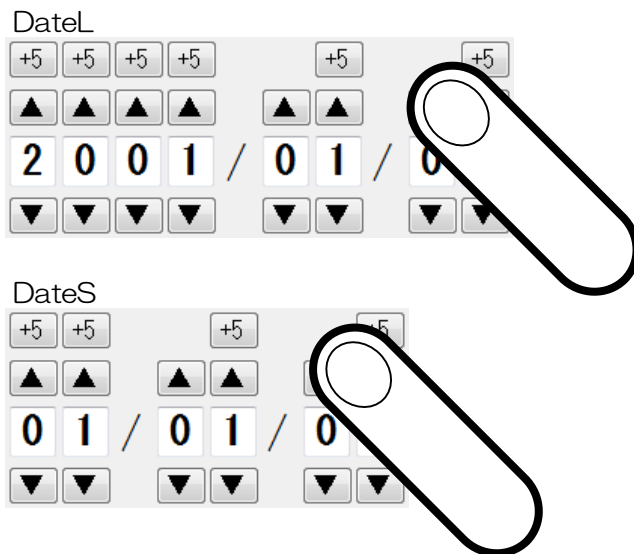
YYYY/MM/DD 形式の DateL と、YY/MM/DD 形式の DateS があります。

それぞれの桁を上下矢印により数値の増減を行い、+5 の指定もできます。

直接数値を入力することも、プロパティにより値を与えることもできます。

値はプロパティにより受け取ることができます。


ありえない日付を指定すると Nothing を返します。



## 1 コントロールの配置

- ・ Form もしくは UserControl に uctDateL または uctDateS を貼り付けます。

 uctDateL

 uctDateS

## 2 各種パラメータ設定

- ・ 次のプロパティがあります。

日付送受信

■ Value

コントロール中のテキストボックスに表示されている日付の設定・取得をする

# TimeL, TimeS

---

時刻を指定します。

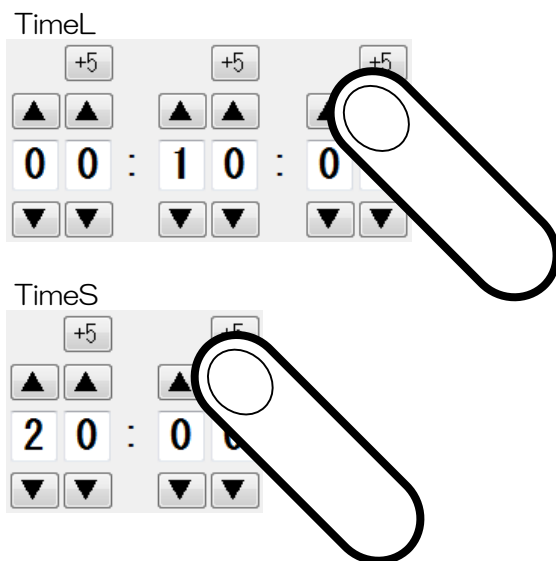
HH:MM:SS 形式の TimeL と、HH:MM 形式の TimeS があります。

それぞれの桁を上下矢印により数値の増減を行い、+5 の指定もできます。

直接数値を入力することも、プロパティにより値を与えることもできます。

値はプロパティにより受け取ることができます。

ありえない時刻を指定すると Nothing を返します。



## 1 コントロールの配置

- ・ Form もしくは UserControl に uctTimeL または uctTimeS を貼り付けます。

 uctTimeL

 uctTimeS

## 2 各種パラメータ設定

- ・ 次のプロパティがあります。

日付送受信

■ Value

コントロール中のテキストボックスに表示されている日付の設定・取得をする